

序章 本事業及び本業務の目的と概要



序章 本事業及び本業務の目的と概要

■本事業の目的

本市は、県内でも有数の農業都市として、多彩で魅力ある農水産物を豊富に抱える恵まれた環境にありながら、うるまブランドとしての定着化が不十分な状況にある。

本市農水産物のブランド力・魅力を高めながら広く周知させ、消費者の購買意欲を促し、生産者の所得向上・第一次産業の魅力向上等に繋げていくことが求められている。

うるま市農水産業振興戦略拠点施設整備事業は、本市農水産物に特化した農水産物直売所、加工施設、飲食施設等の複合機能を有機的に連動させ、スケールメリットを生かした需要喚起とさらなる供給拡大の相乗効果を図り、本市生産品のブランド化による販路拡大、地産地消、地産外商、6次産業化を推進し、経営耕作地及び生産量の拡大、担い手の確保・育成など、第一次産業の持続・振興的な発展に寄与する事業である。

■平成 25 年度業務の目的

平成 24 年度は、うるま市農水産業振興戦略拠点施設の整備をするにあたり、本事業の可能性、方向性の分析検討を行い、基本的な方針及び事業規模等について纏めた「農水産業振興戦略拠点施設事業計画」（以下「事業計画」という）を策定している。

平成 25 年度事業では、この基本計画を深度化し、実現性の高い「うるま市農水産業振興戦略拠点施設事業実施計画」（以下「事業実施計画」という。）を策定する。

事業実施計画策定に向けては、『利用者の意見を反映させる』、『利用者・運営者の視点に立った施設づくり』、『オペレーションの下地作り』に重点を置いて進行をする。

農水産業従事者や市民、関係団体等で構成する市民ワークショップなどの開催を通して意見を収集するなど、市民が参加し民間の力を活用した計画づくりを進め、うるま市の特徴を活かせる施設づくりを目指す。

◆平成 24 年度事業（事業計画策定業務）

平成 24 年度事業：基本構想の検討、及び基礎調査

- ・基本的な方向性の設定
- ・基本的な施設規模イメージの設定
- ・基本的な組織・運営体制の検討
- ・運営などの実施に向けて考えられる課題は、今後の実現に向けた課題として提案



■平成 25 年度事業（事業実施計画策定業務）

事業計画を踏まえつつ更に深度化を図り、実現に向けた検討

①計画地マーケットの確認

- ・農水産物直売所の立地環境の確認
- ・マーケット環境、生活者環境、直売所立地の課題について整理

②施設コンセプトの策定

- ・事業計画で提案された方向性を検証し、ワークショップ等で検討し、コンセプトを確立

③施設運営計画の策定

- ・事業計画で提案された課題を踏まえ、施設運営体制の方向性を検討

④施設計画の策定

- ・事業計画で想定された農水産物直売所の規模、施設配置計画等を基本に、施設配置計画を検討

⑤事業収支試算の策定

- ・事業計画における農水産物直売所の事業試算を踏まえ、再度各投資、収入見込み、支出見込みなどの試算



■平成 25 年度事業（基本設計策定業務）

事業実施計画を踏まえた基本設計の策定

- ・敷地レイアウト、施設配置、建物内配置、建築デザインの検討
- ・概算工事費の算定

※農水産業従事者、利用者、運営者視点をヒアリングや市民ワークショップを通じてとり入れ、基本設計に反映

■平成 25 年度事業（事業実施計画・基本設計策定をサポートする調査業務）

※生産者を含む市民、関係者（団体）等が参画した施設づくりを目指し、次の調査業務を実施した。

①ワークショップの開催

- ・市民や農水産物関連事業者等が、既存直売所の現状と課題、魅力的な直売所づくりに関する知識を学び、主体的な意見を導き出すために、専門講師によるセミナーを通じたワークショップを実施し、意見や関連情報などを事業実施計画や基本設計の策定に反映させた。

②参考施設の視察

- ・市民や農水産業関連事業者等と参考となる先進事例を視察調査し、事業実施計画や基本設計の策定に反映させた。

③関係団体へのヒアリングの実施

- ・生産者、消費者、飲食店業者への聞き取り調査を実施し、各々のニーズ掘り出しを行い、事業実施計画や基本設計の策定に反映させた。

■業務フロー



